

議会広報特別委員会

日 時	令和元年12月 6日 (金) 開会中	11時15分 開会 13時40分 閉会
場 所	相良庁舎 4階 第2会議室	
出席議員	(委員長) 2番 濱崎一輝	(副委員長) 3番 原口康之
	6番 藤野 守	5番 平口朋彦
	4番 吉田富士雄	1番 鈴木長馬
欠席議員		
法第105条出席		
事 務 局	局長 植田 勝	書記 森田さおり 書記 北原大輔
説明員	情報交流課長 大石 佳伸 情報交流課情報交流係長 大石 昌秀 情報交流課情報交流係 主査 森 怜也	

署名 議会広報特別委員長

開会の宣告

○議会広報特別委員長（濱崎一輝）

皆さん、お疲れのところ、どうもありがとうございます。

それでは、ただいまより、広報特別委員会、第1回目の委員会を開催いたします。

きょうは、最初に、市議会のホームページのリニューアルということからについて話をさせてもらって、二つ目に議会広報の「かけはし」の作成方針について。三つ目に「かけはし」の第57号の編集スケジュール、ページ割について話し合いをしていきたいと思っております。

2 事件 (1) 市議会ホームページのリニューアルについて

○議会広報特別委員長（濱崎一輝）

1番、一つ目のホームページのリニューアルについて、担当課よりご説明をお願いいたします。どうぞ。

○情報交流課長（大石佳伸君）

今回、ホームページのリニューアルということで、情報交流課の3名で、今の概要等についてご説明をさせていただいて、よりいいものにしていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。

まず、この後、パワーポイントで画面等を見ながら説明をさせていただきますけれども、私のほうからは、少し、今回に至った経緯についても含めて、お話をさせていただければと思っています。

まず、この情報交流課、市で持ち合わせている情報発信のツールとしては、ホームページ、あと広報誌、そして、フェイスブック等がございます。その中で、広報まきのほらにつきましては、年12回発行、そして、各それぞれで1万5,700部、24ページということで、広報1部当たりの単価につきましては、大体22円くらいとなっております。ただ、ページ等によって若干増減しますけれども、基本的には、22円前後の1部当たりの印刷費ということになっております。

この広報のよさというのは、紙で残るということにおいて、市の記録として保存できるというところが、一番大きいメリットではないかなと考えております。

確かに、フェイスブックとか、ホームページは、すごく即効性があるって、タイムリーな話題等も出せますけれども、やはりそれを一つ一つとっておくというのは、なかなか難しい中で、この広報は広報なりに、ずっと保存できる。そして、それをいつか見返して、見直していろいろなものをもう一回検討できるというようなよさがあるのではないかなと思っています。

ただ、一方、情報がおくれるといいますか、例えば、この広報の編集作業ですけれども、月末、例えば、12月の広報につきましては、11月の末に最終校正を行います。

というところで、発行が12月15日、そして、一般的には、組の班回覧とか、常会でお渡しをしていただきますので、市民の皆様に行き渡るのが、大体、月末というような状況で、記事をつくってから市民の皆様に行き渡るのが、約1カ月かかってしまうというのが現状でございます。

そういった速報性がない部分が、少し広報誌のデメリットかと思っておりますけれども、そこを補うのが、フェイスブックやホームページ、いわゆるSNSであるのではないかなという考え方で、今行っております。

ホームページ、SNSにつきましては、随時更新をしております。ホームページの年間アクセス数は、41万1,925件。これは、平成30年ですけれども、そういった形でアクセスをいただいております。1日に直すと、平均1,129件、約1,100件ほどのアクセスがあるということになっていきます。

フェイスブックの登録者につきましても、MAK I c o m、ビタミンらぼと二つ、市のほうでは、発信をしているわけですが、MAK I c o mにつきましても2,681人、ビタミンらぼにつきましても、6,252人、計8,933人登録をしています。

先ほど来、申し上げましたとおり、非常に速報性が高いということや、今回、非常に感じましたのは、議員等からのご指摘もいただきましたけれども、防災情報等に非常に有効であるのではないかなというような考え方を私自身も、今回の台風15号、19号において、この速報性が大事だよというところを、改めて考えた次第でございます。

さらに、前回、常任委員会協議会のほうにもご報告をさせていただきましたけれども、1月からLINEを開設するというところで、こちらについても、できるだけ多くの市民の方々に情報を知っていただきたいというような形で活用をしていきたいと考えております。

この後、係長のほうからパワーポイントを使って説明をさせていただきますけれども、では、ホームページのリニューアルはなぜ必要だったのかというところでございます。

まず、1点は、前回のリニューアル、ホームページのリニューアルから8年が経過をしております。よそのまちとか、そこに比べても、やはり8年というのは、かなり長かったので、よその市とか、まちの発信力に比べて弱かったというものもございまして、今回、予算を計上させていただきます、お認めいただきまして、今、鋭意、運用に向けて進んでいるところでございます。

その中でも、やはりスマホに対応できなかった部分があったりとか、いろいろなところがございまして、今回、デザインを一新したり、知りたい情報にたどり着くための動線をわかりやすくして、誰もが見やすく、使いやすいサイトに再構築をしているところでございます。

今回の今日に至るまでの経過につきましては、4月に入ってから、業者選定等に入っておりますけれども、今回は、公募型のプロポーザル形式で入札といいますか、契約を行っております。プロポーザルの選定委員会を何度か開きまして、手を挙げてくれた業者にプレゼン、そして書面審査等を行いまして、6月の末に899万9,999円というところで、福泉という業者に契約をいたしましたところでございます。そこと今、それぞれいろいろな課題等もございまして、そういった

たことを一つずつクリアしながら、作業を進めていっているというところでございます。

作業の具体的なものにつきましては、新たにデザインを一新するものですから、こういったものが見やすく、市をPRすることにつながるのかということも心がけながら行っておると、あと、一番今、大変だったのは、データ移行。今のこのホームページに残っているデータを、今度、新しいものに載せかえなければならない。その中には、もう古くて、これはもう廃棄してもいいよねというものもございますし、PDFで取り込んだものについては、PDFの移行がなかなかできない。データでいかしたいものですから、新たに少し打ち直したりとか、そういったことをやりながら、各課の職員が、今日に至るまで、5回ぐらい広報委員会を開いて、それぞれの課の持っているデータを移行するような作業をしております。

現在、ほぼ移行の状況も終わりました、あとは、正確に移行できているかということ、これから各課の広報委員、市の職員にそれぞれ自分の分担を見ていただいて、確認をしていくところでございます。

運用開始につきましては、そういった作業を今経まして、来年の1月中旬くらいに運用を開始できればというところで進めております。このままトラブル等もなければ、そこを目掛けて運用開始ができるのではないかなというところで、担当では、見込んでおりますけれども、いつ運用できるというような確定した時点で、ホームページとか、フェイスブック、そして、1月の広報でも案内をしていって、より、このホームページの閲覧者数、見ていただける市民、そして市内外の人に見ていただけるようなホームページの作成に心がけていきたいと思っております。

私のほうからは、簡単な概要を説明させていただきました。

それでは、ここから少しパワーポイントのほうをごらんください。よろしく申し上げます。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝）

ありがとうございます。

大石係長。

○情報交流係長（大石晶秀君）

それでは、私のほうから、市のホームページのリニューアルの概要について、どのように実際が変わるのか、皆さんにイメージしていただきたいと思ひまして、そちらのほうの概要を説明させていただきますと思います。

あと、先ほど、課長からも話がありましたが、LINEについても、来年の運用開始を目指しておりますので、そちらについても説明をさせていただきますと思います。

まず、こちらのほうなんです、ほかの自治体、近隣自治体とのホームページの違いということで、こちらはスマホ版になります。一番左が、こちらが牧之原市のスマホのホームページになります。こちらは、スマホもパソコンも変わらないデザインになっております。ですので、かなりスマホで見た場合、字が小さくて、見にくいというご意見をたくさんいただいております。

隣が吉田町になります。こちらはスマホに対応したデザインということで、かなりすっきりした形で、字も大きくて見やすく、これをスクロールしていくと下のほうにまた、いろいろな情

報が出てくるような形になります。

こちらでも、御前崎市になります。御前崎市につきましても同じような形で、スマホに対応した形で、ここは、ふるさと納税ということで、こちらをクリックすると、また情報が入ってくるということで、かなりすっきりした見やすい形。

横につきましても、菊川市ということで、こちらでもスマホに対応したということで、私たちの牧之原市だけが、スマホに対応していないホームページになっているということで、かなり見にくくて、情報を詰め過ぎているというか、1枚のページの中に、かなりごちゃごちゃしている感じのホームページになっております。

実際、現在のホームページは、どんな感じかということで、現在のホームページの問題点とか、課題について、少し説明をさせていただきたいと思います。

こちらが、市のホームページ、トップページになります。先ほど来、説明しましたが、スマホもパソコンも同じ形になっておりまして、まず、見ていただくと、情報のごちゃごちゃしているというか、こちらの左のほうに市長の部屋とか、議会のサイトがありまして、それぞれふるさと納税があります。

こちらのほうは、子育ての関係でまきはぐとか、市内の情報をリンクさせてあります。こちらにつきましても、外部の空港とか、国土交通省の外部リンクを張って、こちらのトップのほうには、牧之原市のニュースということで、このごろ、田沼の大祭をやったニュースとかを載せてありまして、両サイドにリンクしてあって、真ん中にお知らせとか、イベント、募集要項ということで、あと、下に生活、暮らしの情報関係をやってあります。これは、かなり1枚のページにしてありますので、ごちゃごちゃしていて、字が小さい。

情報が検索しにくいということですが、今、このホームページの中の情報が、各課に広報員とあるんですが、広報員にいろいろ情報の提供とか、更新をしているんですが、かなり情報がばらばらに保存されているというか、なっております、情報が整理されていない状況になっております。

先ほど来、説明しておりますが、スマホもパソコンも同じ画面で見にくいということで、これが大きな課題となっております、この問題点を解決するために、今回、リニューアルをしております。

例えば、今のホームページの静岡牧之原茶というところのサイトがありまして、そこをクリックしますと、これが、そのページになります。見ていただくと、かなりページがただ並んでいるだけで、例えば、イベント情報とか、生産者の声とか、出来事とか、そういうカテゴリーごとというんですか、情報ごとにまとまっていないものですから、ただ記事が並んでいるだけのページで整理されていない。見ていただくとおり、もう本当に見にくいということと、検索しにくい。ここに何の情報があるのか、ぱっと見わからないということで、こういう課題となっております。

こちらが、今回リニューアルするホームページのデザインの案になります。これは、あくまでもイメージなんですけど、こちらのほうに、トップに写真がここに来ます。これは、3、4枚、市

内の写真になりますが、これは、あくまでイメージで、お茶と富士山の写真になっていますが、こちらに市内の景勝地と言うんですか、観光地とか、茶畑とか、海とかの写真を載せて、スライドしていくような形になります。

こちらのほうが、防災情報を赤く、わかりやすいということになっていまして、こちらのほうが、暮らしの情報、カテゴリーごとに暮らしとか、ごみの出し方とか、それぞれカテゴリーごとに情報をここで整理します。

こちらをスクロールしていきますと、その下のほうに、トピックスな形の市の情報、新しい情報にしまして、その下のほうに、それぞれこちらのほうは、市長の部屋とか、こちらは議会のサイトで、牧之原市の情報ということになっております。

それぞれこういう形で、カテゴリーごと整理をしまして、この中にいろいろなページ、情報を入れて検索をしやすいような形のホームページを今回、目指しております。

こちらが、先ほど、現在のホームページの静岡牧之原茶のページを見ていただきましたが、今回、こちらが新しい静岡牧之原茶のデザイン案になります。こちらイメージなんですが、こちらの写真は、まだ変わりますが、こちらのほうにお茶の関係の写真をいって、こちらのほうもスライドする形になります。

こちらのほうにメニューボタンがありまして、こちらのほうに、それぞれメニュー、こちらのほうに生産者の顔とか、茶草場農法とか、動画とかという形で、それぞれカテゴリーごとになっていまして、ここをクリックすると、例えば、ここら辺あたりの動画というクリックをすると、こちらのほうの動画にぱっと飛ぶような形になっていまして、それぞれカテゴリーごとに情報をまとめて、見やすく、すっきりした形のサイトを今、構築を目指しております。

一体何が変わるのかということで、少しまとめさせていただきましたが、まず、先ほど来、説明いたしました、トップページがすっきりするということで、今のトップページがかなり詰め込んだ形で情報を並べておるものですから、トップページがスクロールして、すっきり見やすくなるということになっております。

あと、先ほど来、説明しましたが、記事が整理されて見やすくなるということで、先ほどのページでも、もう記事がぱっと並んでいる情報だったんですが、今回は項目ごとに並べて、情報を整理して、記事が検索しやすくなるということで、なっております。

あと、スマホ版に対応したデザインとなるということで、今は、スマホもパソコンも同じデザインになっておりますので、見づらい、見にくいということになりますので、ほかの市町の形と同じようにスマホ版に対応したデザインという形になります。

あと、今回のリニューアルに合わせまして、現在は言語が日本語しか対応しておりませんが、今回、多言語化ということで、英語と中国、韓国とポルトガル語ということで、この言語に対応した形で、ホームページの一番上のほうに変換する機能がつきますので、そちらをクリックして、例えば、英語版となれば、そのページが英語に変換されるということで、自動翻訳機能を今回、入れますので、多言語、外国人にも対応した形のホームページということになっております。

あと、特殊デザインということで、今回、静岡牧之原茶と沿岸部活性化と書いてありますが、海関係、マリンカルチャーということと、あと、移住定住、こちらの三つのサイトにつきましては、デザインに特化した形の特殊サブサイトということで上がります。

それで、こちらのほうは、デザインに特化したものですから、かなり見やすく、情報も整理されて、ちょっとほかのページと差別化というか、いろいろな方に見ていただきたいということで整理されている情報になります。

あと、視覚障害者に優しい対応ということで、音声読み上げ機能ということで、こちらにつきましては、視覚障害者で文字がなかなか見にくいという形につきましては、皆さん、結構音声読み上げ機能という、そういう機械を持っている方が多いということを知っています。その機械を使えば、実際に、このページを読み上げしてくれているという形で、例えば、今は曜日なんかは、括弧、何月、何日、括弧、土曜日の場合は、土と書いて、括弧は、閉じ括弧になりますが、そういう場合に音声ですと、土って読んでしまいます。曜日ではなくて、土って読んでしまうものですから、今回のリニューアルに合わせて、そのあたりにつきましても、土曜日というか、例えば、何年、何月、何日、形でちゃんと音声を読み上げできるような形の修正を全てかけます。

そういう形にすれば、音声読み上げ機能を使えば、ちゃんとした翻訳ができるということになりますので、そういう形で視覚障害者にも優しい対応をとるということで、今回のホームページをリニューアルさせていただきたいと思います。

続きまして、現在のホームページの中の市議会のサイトのページになります。左側がトップになります。こちらのほうも項目ごと、情報は整理されていまして、こちらのほうの市議会のあらましというもののクリックをしますと、こういう形でそれぞれ項目ごと、市議会の仕組みとか、基本条例とか、主な取り組みとかということで、項目ごとに、ほかのページに比べれば、かなり整理されているような情報になっています。

こちらが、あくまでもイメージなんですけど、こちらがリニューアル後の市議会のサイトになります。ほかのページと少し差というか、差別を図ったのが、ほかのページですと、ここに市の市章が来ます。ほかのページですと。ですが、今回、ここに市章が来るのを少し削ってというか、ここに見えないようになっていまして、ここにあと、市のトップページに飛ぶという形でリンクになっていますが、そちらも少し見えないような形にさせていただいております。

こちらの写真につきましては、この写真もまだ、これから変えますが、あくまでもイメージとして今、議会中の写真を載せさせていただいております。左側に、それぞれ項目ごと、大分類しております。それぞれ議会のあらましとか、議員紹介とか、出来事とか、それぞれ左側に項目ごとになっていまして、こちらのほうが、ずっといろいろな情報、ちょっとこちら、文書が多くて、ちょっとごちゃごちゃしていますが、一応、市議会のあらましということで、それぞれずっと、ざっと形で並んでおりまして、一番最後が、まだどうするかあれなんですけど、こちらのほうに議会事務局の連絡先をとるのか、こちら辺は、また、市議会事務局とも相談させていただいて、こちらのデザインにつきましては、このようなイメージということで、ご理解いただき

いと思います。この辺は、まだ修正が可能ですので、こちら辺につきましては、また、ご意見をいただければと思っております。

以上が、ホームページの概要ということで、簡単な説明で申しわけありませんが、以上になります。

続きまして、無料通信アプリ、LINEの概要につきまして説明させていただきます。

11月の合同協議会で運用について説明をさせていただきました。そのときに、運用開始を12月の下旬、25日ということで説明させていただきましたが、市のホームページのリニューアル、公開が1月の中旬を予定しております。

その前にLINE運用を開始してしまうと、リンク切れというか、リンクが飛ばないようになってしまいます。全て変えなければいけませんので、手戻りが発生しますので、少し、LINEの運用開始時期をホームページの公開後、半月ぐらい後ろになりますが、1月の下旬を今、予定しております。申しわけありません。

続いて、こちらのほう、この前少し協議会でも説明させていただきましたが、こちらがLINEのトップになります。こちらのほうが、友達登録すると、友達追加ありがとうございますというような形になりまして、こちらに最大で6個のマスがつくれます。今は市内情報とか、ホームページ、イベント情報ということで、こちらをクリックすると、ホームページに飛んだり、ホームページのイベント情報とか、子育て情報を押しますと、まきはぐということで、子育て情報に飛ぶような形になります。

参考までに、市内情報をクリックしますと、市のホームページのリンクになりまして、フェイスブックとか、広報とか、お知らせということで、このホームページ内の情報に飛ぶような形のリンクという形になっております。

今回のLINEにつきましては、情報発信ツールとしまして、イベント情報、何かイベントがあれば、市のほうでこちらの情報を流すということで、あと、防災情報、市政情報ということで、タイムリーな情報をLINEを活用して、それぞれ情報発信をしていきたいと思っております

あと、今回、同報無線がデジタル化になります。そういう関係で、今、同法無線の情報がこちらのほうに、LINEに飛ぶように今、調整をしております。あと、ホームページのほうにも飛ぶように、今、防災課とうちのほうの情報交流課で調整しております。うまくいけば、同法無線で言った内容が、このLINEのところの情報が飛んでいくという形で、台風のときなんかは、かなり同報無線は聞きにくいということで伺っておりますので、LINEのところでの同報無線の情報が流れるということで、かなり有効な情報伝達の手段になるかなということで考えております。

参考までに、今、LINEのテストアカウントということで、うちの担当課とか、一部の職員の関係でテストをやっております。この前、猿が市内に出たということでありましたが、こちらは、参考までですが、猿が出たよということで、一応そういう情報も、こんな形でLINEで流せるということで、参考までに情報提供をさせていただきました。

今後の予定につきましては、先ほど少し説明しましたが、市のホームページのリニューアルの公開が1月中旬を予定しておりますので、その後、市のホームページにリンクさせるということで、LINEの運用開始を1月下旬を予定しております。

あと、課題といたしましては、何にしても、多くの人に登録してもらおうというのが第一です。こちらのほうでいろいろ情報を流しても、登録してもらわないと、市民の方々に情報が伝わりませんので、まず、多くの人に登録してもらおうということで、うちの課とすれば、まず成人式にチラシを配って、成人式は1月中旬なんですけど、1月下旬からLINEを運用しますよとか、そういうチラシを配ったり、自治行政連絡会とか、区長さんに回覧をお願いして、市民の方々に周知を図るとか、あとホームページとか、広報誌を使って、なるべく多くの方々に友達登録をしてもらおうという形で、これから努めていきたいと思っております。

あと、住民サービスの充実を図る機能の導入ということで、こちらにつきましては、ほかの市なんかは、住民票とか、そういう窓口申請をLINEを使ってやっている自治体があります。ただ、そちらにつきましても、かなりシステムを構築するのに費用がかかったり、ランニングコストがかかります。そういう関係もありまして、実際、どこまでやるのかというのは、費用対効果を検証したり、市民の要望を聞いたりして、どこまでやるのか、実際、どこの課が担当するのこともありますので、私たち情報交流課とすれば、あくまで情報発信のツールとしてLINEを活用させていただきまして、それ以降の住民サービスにつきましては、市民課とか、福祉の関係とか、それぞれ担当課がありますので、そちらのほうともいろいろ調整しながら、実際、どこまでやるのかを、また、今後の課題ということで、私たちは認識しております。

私のほうから、ホームページとLINEについて、概要ですが、簡単ではありますが説明させていただきました。ありがとうございます。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝）

ご説明をどうもありがとうございました。

今、説明をしていただきましたけれども、質疑の質問があるかと思っておりますので、ある方は、挙手にてお願いいたします。

原口委員、どうぞ

○（原口康之君）

1点だけ確認させてください。このLINEとか、ホームページのリニューアルとかの周知ですけど、これ、先ほど、行政連絡会でも連絡するというような話があったんですけど、これ、全戸配布で何かこういうものがあるとかということじゃなくて、ただ、行政連絡会の区町さんのほうへ、1枚のプリントで渡すような形になるんですかね。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝）

情報交流課長。

○情報交流課長（大石佳伸君）

そういった個別でももちろんやっていきますけれども、一応、全戸配布で考えているのは、広報

の1月号に、1ページの半分くらいを用いて、こういったものが始まりますよというようなお願い、そして登録をお願いしたいという形で、出していかうかと思っています。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝）

ほかには。

平口委員。

○（平口朋彦君）

ちょっとお聞きをするんですけど、LINEは完璧だと思います。

ただ、ホームページ、市のホームページと、もちろん議会のサイトもそうなんですけど、コンセプトをお聞きしたいんですね。ホームページに訪れる人って、ざっくり大まかに言うと、2種類なんです。市のホームページだったら、市民、市外の人、この2種類があるんですね。

市民の人は、毎日、常時、ニュースを得たくて見るんですよ。だから、常に更新しているページしか見たくないんですね。市外の方は、情報が欲しいんで、固定している情報が欲しいんですね。移住定住を考えている人は、移住定住のページが見たいという2種類があると思うんですよ。そのどっちを重んじるかということによって、コンセプトが変わってくると思うんです。市民向けにページを構成すると、移住定住のページってなかなか見つけられないんですね。ただ、市民の人にすれば、速報性のあるニュースをすぐ手に入れやすいようなページになると。でも、市外の方は、言ってみれば、移住定住のページとか、牧之原茶のページとか見たいと思うんですよ。

ただ、牧之原茶のページも、移住定住のページも、もっと言うと、市長のページも、1回見たら終わりなんですよ。市長のページなんて、私は1回しか見ていないですからね。それが、これだけ大きなバナーを使うのか。別に市長にいじわるするわけじゃないですよ。

それと一緒に、市議会のほうもそうなんですよ。リニューアル後の市議会のサイトってありますよね。ここに、恐らく、あらましってあって、委員会とは何だとか、そういうのが書いてあるような気がするんですね。市議会のページを見る人って、十中八九、市民なんですよ。

そうしたら、市民にしてみれば、ひょっとしたら、市議会議員の給料って幾らかなという情報を見たいときがあると思うんですよ。それだって、1回で済むんですよ。それを思えば、市民の人が、毎回、市議会のホームページを見て、一番初めに見たいのって、つい最近、決まったこと。もっと言えば、今やっている定例会のライブ配信とか、そういうものなんですよ。

そう考えると、このトップページをどういうコンセプトにするか。市民に常時ニュースを、一番初めに目につけてもらうためのページにするのか。

市外の人をターゲットにするのかって、すごく大きいと思うんです。市外の人をターゲットにするんだったら、固定の情報がすぐ手に入りやすいようにするべきだし、市民をターゲットにするんだったら、市民が欲しい、市長の部屋なんて、市民だって1回しか見ない、恐らく。ファンだったら、3回ぐらい見るかもしれないですけど。

そういうことを考えたつくりには、やっぱり特化、特化まで行かないでも、ウエイトを置かないといけないんですね。そういった意味では、市議会の話で申しわけないんですけど、リニューアル

ル後の市議会のサイト、ここにずらす文があるじゃないですか。

私がイメージしていたのは、ここは、もうボタンです。こんなスクロールなんて、あんまりしてほしくない。ボタンがあって、会議録とか、構成とか、ニュースとか、そういうのがぼんぼんぼんぼんとあって、そこをすぐ押せるようにして、その次の階層で見てもらえばいい。こんな市議会のあらましがトップページにあったって、このページ、見たいものはもうないですから、一遍読んじゃったら。そういうふうに私は考えたんですね。

何でLINEはすばらしいかという、LINEは、もうこれ、ユーザーに優しいんですよ。見たいものがすぐボタンでわかるので。スクロールの上のところで、速報性のあるニュースが出ますよね。固定情報というのは、このボタンで固定情報に飛べるわけですよね。フェイスブックのページというボタンがあって、わざわざフェイスブックのあれしなくていいという、こういうふうな感じでやっていくほうがいいのかなって、すごいイメージをしていたんですよ。

市のホームページについて、市長のバナーをちっちゃくしろとか、そういうのは別に言わないんですけど、少なくとも市議会のページは、このトップページでは、及第点もとれてないと思います。もっとボタンバナーをいっぱい使って、まず、1発目に視覚的に必要なものを得られるようにする。

ワンクリック押させるのって大変なんですよ。すごく大変なんですけど、それでも、もうこのトップページでは、もう既に、見た瞬間げんなりですね。また、もういいよ、このページというふうになってしまうので。

できれば、私はもうここに、たとえ放送していなくても、YouTubeなり、何なりのディープという枠があるんですけど、ディープを設置して、常に何かの動画が繰り返し、例えば、一般質問の7人分だったら、直近の7人分の動画が、常に繰り返し、クリックすれば始まるようにしておくとか、そういうふうにニュース性を重んじます。

市議会ページなんて、本当、99%市民しか見ないので、一度読んだら、それでいい、終了の情報、もっと階層を下にしたほうが良いと思います。

どうですか。ごめんなさい、質疑なんで、どうですか。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝）

大石課長。

○情報交流課長（大石佳伸君）

まず、委員が言われたコンセプトの部分において、やはり市民、市外という2種類の中でというところが、もちろんうちのほうでも考えました。ただ、その中で、やはりどこかでとんがらなければいけないという部分は、考えていましたけれども、やはりそれぞれの見に来てくれた人を、それぞれ折衷案じゃないですけども、という形で、少し思っていたところはあります。

ただ、一番の思いとしては、この牧之原市のよさというところ。そうして言うと、もしかして、市民をないがしろにしているということではなく、まず牧之原市のいいところをトップページで出していくべきであろうというような見解は持っております。

その中で、今、牧之原市の売りは何であろうというようなところを、まず見てもらって、それは市外であろうと、市内であろうと、市内の人もそこを見れば、牧之原市は、こんなやっぱり写真にしてみると、すごくいいねとか、そういったところもあるものですから、そういったところを売りにしていきたいと思っています。

ただ、たどり着くための情報については、今、委員が言われたとおり、このリニューアル後の市議会サイトで言うと、例えば、今はスクロールという体をとっていると思うんですけども、例えば、少し帰って確認をしてみますけれども、こういった形でまずは、先ほど言われたとおり、このボタンというような形の中での次への移行というところが、どういう形にできるのかというところを、少し検討していきたいと思っています。

すみません、全ての言われた中のお答えに、もしかしたら、なっていないかもしれませんがけれども、一応そんなところで考えています。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝）

平口委員。

○（平口朋彦君）

ありがとうございます。まさにそうなんですよ。今、情報交流課長がおっしゃったように、市のよさをまずはアピールしたいというんだったら、それでいいんですよ。

だから、ホームページで、もちろん私なんかは、現状のホームページで見るところなんて、左側の市議会のバナーを押すか、トップの一番上のお知らせでしたっけ。ありますよね。そこしか見ないんですよ。全くそこしか見ない。

市民の皆さんだしたら、市議会をさらに見ないんで、このトップのところか、次の3段目の緑のイベントしか見ないと思います。

もし、市民に特化するんだしたら、そこだけわかりやすくでかかるとすればいいと思うんですよ。それでも、今、情報交流課の考えとしては、市外向けに牧之原市をPRをしていこうというんだしたら、それがウエイトが重くなって、今みたいな発信をトップページに配置していくというんだしたら、全然、問題ないと思う。コンセプトでそこをそっちにウエイトを置いたということは、すごくいいと思うので。

それと同じで、繰り返しになって申しわけないんですけど、市議会のページのほうは、逆に、市外には発信しなくていいです、全く。

なので、いつもつも変わらない固定の情報なんていうのは、階層を奥にしてもらっていいので、これ、すごい字が多いんですよ。リニューアル後の市議会サイト。もうこれ、ぶっちゃけこの字、細々した字なんていらずに、見出しだけでいいんじゃないかぐらいに思うんですよ。何て書いてあるか、ちょっとわからないですけど、見出しだけになっても、すごいすっきりするのかなとか思うし、もっとぐぐっとできるのかなと思うので、その辺は、また考えてもらえればなと思います。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝）

情報交流課長。

○情報交流課長（大石佳伸君）

おっしゃられたところを少し改善等考えながら、やっていきたいと思っています。

そして、本当、トップ、私たちとか、よそのまちに行ったときに、まずホームページを見て、そのまちってどんなところなんだろうなというイメージがすごく、一番、私がよそのまちに行ったときに使うのは、やっぱりホームページを見て、その状況、例えば、人口もそうですけども。でも、その中でやはり視覚で入ってくるものというのが、本当に印象づけられるところもあるものですから、そういったところを大事にしていきたい。

ただ、本当に市民向けの情報をおろそかにしているわけではないものですから、その辺も入れながら、本当に今おっしゃられたとおりの、そのポイントをしっかりと見きわめながら、作り込んでいきたいと思っています。ありがとうございます。

あと、今のその市議会のほう、係長のほうから。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝）

大石係長。

○情報交流係長（大石晶秀君）

すみません。私のほうで少し説明不足であったんですが、今回、お見せした市議会サイトは、こちらが、市議会のあらましということで、トップページでは、今は、ないんですよ。

トップページの左側にボタンがありますが、こちらが一番上の市議会のあらましということで、こちらを押したところで、文章がちょっと今出てくるんですが、トップページは、少し、まだ調整中というか、作業中でして、ちょっと申しわけありません。本当でしたら、トップページがここに出ればよかったんですが、そのトップページの下階層が出てしまいましたので、ちょっと文字が多くなっていますが、ホームページのトップにつきまして、議会のトップにつきましては、ちょっともう一回調整して、先ほど委員がおっしゃられたとおりの、もっとわかりやすく、見やすいような形の指示をこちらのほうから出したいと思いますので、申しわけありませんが、今後、調整させていただきたいと思います。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝）

平口委員。

○（平口朋彦君）

これ、最後にします。サイドバーって、必須なのかな。サイドバーのメニューじゃなくて、サイドバーなしにしちゃって、全部ボタンにするということも、恐らく、そういうふうに発注すれば可能だと思うんですよ。市のホームページは、サイドバーですよ、今、

それで、逆に言うと、両サイドバーなんですよ。両サイドバーにバナーを配置しているんですよ。必要かなと思うんですよ。こういうふうに、この新しくなったホームページは、ああやってボタンじゃないですか。サイドバーをやめて。サイドバーってあれなんですよ。本当、20世紀の代物なので、21世紀は、やっぱり動的なウェブページだと、サイドバーってあんまりあ

れなのかなと思って。

○議会広報特別委員長（瀧崎一輝）

大石係長。

○情報交流係長（大石晶秀君）

サイドバーにつきまして、これは今、基本のページの形になっておりますので、この辺のデザインにつきまして、いま一度、受託業者と調整させてもらって、サイドバーでなくて、もう少し変わった形のデザインができるかは、また確認、調整させていただきたいと思います。

○議会広報特別委員長（瀧崎一輝）

ほかは、ありますでしょうか。

鈴木委員。

○（鈴木長馬君）

この本当に、先ほど平口委員もおっしゃっていましたように、字が細か過ぎると思うんですね。年寄り向きじゃないものですから、その辺も考えていただければと思います。

そして、この利用されている方は、市民、どれくらい利用されているんでしょうかね。ざっとでいいんですけど。41万件ということですけど、年間。同じ人が何回も、利用してくれていると思うんですけど、その辺、そうしますと何割ぐらいの人が利用しているかということなんですけど、その辺。

○議会広報特別委員長（瀧崎一輝）

大石課長。

○情報交流課長（大石佳伸君）

人数については、見に来たというところでカウントはできるんですけども、それが例えば、延べ数とか、そういった同じ人が何回もって、その辺が、ちょっと今の機械の中では、少しわからないです。

ただ、上げられた情報で、一番人気があるというか、見に来たとかという数は、わかっているものですから、例えば、議員さんを前にあれですけど、一番、ここ数年で見に来た件数が多いページというのは、選挙の速報です。そういったものは、非常に見に来るところはあるんですけども、個々に、全体で数というのは、数えていないというのが実情です。

それと、今、鈴木委員が言われたとおり、字がやはり小さい。たまたま今、この議会サイトのあらましというのは、すごく字が小さいものの象徴的な形なんですけれども、それについても、基本は、各課から出されたこの情報を上げるという形になるものですから、今、広報委員とかを通じてわかりやすく、もう簡潔に説明できるような文章の作り方というのを、もう少し検討していく必要があるんだろうなというところで考えています。

なので、例えば、この議会サイトのこのあらましについても、もう少し簡潔に説明できるような形で、少し表現できないかとか、そういったところは、出てくるかと思っています。

どうしても、行政の中でどうしてもつくと、文字でつくり込んで、もうつくり込み過ぎちゃ

って、逆にわかりにくくなってしまうというところもあるものですから、そういったところは、少しずつ各課に指示を出しながら、やっていきたいと思っています。ありがとうございます。

○議会広報特別委員長（瀨崎一輝）

鈴木委員。

○（鈴木長馬君）

私が、質問したのは、あんまり細かく字が見にくいですと、これは、やめたということになっちゃうと思うんですから、その辺、考えていただいて、なるべく読んでいただく人を多くする。そういうふうなことも考えていただければと思います。

○議会広報特別委員長（瀨崎一輝）

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

議会の中のホームページのページのほうは、私どものほうで編集作成等をしておりますので、こちらは、例えば、今、例に出ている市議会のあらましの中にあるこの文面とか、こちらにつきましては、議会事務局のほうを担当しておりますので、先ほど来、平口委員からも、なかなか文字が多いよということでお話がありましたので、ホームページにあわせまして、もう一度見直しをいたしまして、不要なところがあれば、削ると。

私のほうが、ホームページを編集している中で、やはり見出しと本文のめりはりをつけることが、一番見やすさにつながるかなというふうに考えておりますので、このパワポ上ですと、見出しがついているんですけども、そういったところをもう一度見直しながら、再度、見やすい議会のホームページのほうにしていきたいと思っていますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○議会広報特別委員長（瀨崎一輝）

ほかは、よろしいですかね。

○事務局長（植田 勝君君）

すみません、1点だけ、教えてください。新しいホームページですけど、検索するのに、例えば、議会のこと、牧之原市議会という今まで検索をしたときに、この5ページにある、市長の顔が写ったのが最初に出てくるのか。例えば、牧之原市議会というふうに検索したら、例えば、9ページ目のリニューアル後の市議会サイトというところで、市議会のほうにいきなり飛ぶことができるのか、そこだけちょっと教えてもらっていいですか。

○議会広報特別委員長（瀨崎一輝）

では、平口委員。

○（平口朋彦君）

SEO対策だと思うので、これ。検索エンジンシステム最適化というのがあるんですね。グーグルとかヤフーとか、そういうもので検索したときに、要するに、一番上に来るか来ないかという話だと思うんですよ。SEO対策をしっかりしていれば、牧之原市議会といってここに飛ぶようになると思います。

ただ、しっかりしていないと、この市のホームページのこっち側が、上位候補になっちゃうかもしれないです。その辺は、多分ウェブページの会社が、ちゃんとSEO対策も込みでやってくれるような気がしないでもないんですけど、その辺、どうなんですか。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝）

大石係長。

○情報交流係長（大石晶秀君）

プロポーザルのところも、今回の業者につきましては、そのSEO対策は、きっちりやるということで、検索エンジンで、上位に来るような形で、まず検索しやすいということとを売りにしましたので、その辺は、しっかり対応してくれると思いますので、うちのほうもまた、確認をさせていただきます。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝）

ほかは、よろしいでしょうかね。

私のほうからも、ちょっと何点かの意味で意見を述べさせていただきますけれども、先ほど、平口委員が言ったように、トップページに関しましては、やっぱりボタン方式という形でやってもらうといいなというのと、あと写真が、これだと全然ないものですから、写真とか、イラストというのをに入れて、見やすい形にしてもらいたいなというのを思います。

それから、あと、議会だよりの「かけはし」ですけれども、それも、写真とかを入れてもらって、見れるような形にしてもらおうと、それだけけれども、いつでも見れるよという形になると思うので、トップページのところに入れてもらおうといいかなと思います。

それから、あと、先ほど言ったように、LINEに関しては、防災関係にする情報なんかというのを飛べると言ったんですけれども、これ、ツイッターとか、フェイスブックとかは、できないんですかね。また、防災関係の情報に飛ぶっていうのを、リンクさせるというのを。

大石係長。

○情報交流係長（大石晶秀君）

フェイスブックについては、今は飛ぶような形での検討はしていません。ただ、フェイスブックは、もう既に何年もしている経験の中から、今回についても、防災の情報をすぐフェイスブックで拾って、職員が手打ちで同じ情報を流しているという形はあります。ただ、その辺のリンクができれば、一番、その災害時等においても、人手の解消にも、人手不足のあれにもなるものですから、ちょっと検討はしていきたいと思っています。

ただ、今、必ずしもフェイスブックが、防災の情報から落ちているわけじゃなくて、並行して出しています。ただ、手作業がかかっているというところです。

あと、ツイッターについては、今、インスタグラム、ツイッターについては、まだ市で導入をしてないものですから、そちらのほうは今、検討中ということでございます。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝）

わかりました。

いずれにしても、見やすいものでシンプルにしてもらったほうが、非常に、我々が、自分たちが見ていても、文字ばかりのサイトって見ないものですから、せっかく市のほうのホームページは、見やすくてすごくいいのに、議会に来ると、いきなりかた苦しいなというイメージがあるものですから、そこは並行して同じようにしてもらおうといいかなと思います。

以上です。

では、平口委員。

○（平口朋彦君）

全体的なデザインって、こちらは、エンドユーザーですよ。エンドユーザーが、どこまでされますか。

つまり、さっき言ったように、する、しないは別として、Y o u T u b eの窓をトップページにつくりたいと。もしくは、右下あたりに、市議会フェイスブックの、要は記事が常時出るような形にするページもありますよね。そういうふうに、我々がしたいなって思ったら、一々業者に頼まないといけないのか。こっち側でHTMLを理解している人間だったら、やっていいのかどうか。その辺は、どういう契約になっていますか。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝）

大石係長。

○情報交流係長（大石晶秀君）

デザインのそのあたりの追加とか、変更になると、保守の範囲、公開後も保守ということで契約をしていきますので、その中での対応かなと考えておきまして、もし、そこら辺の要望があれば、ご意見をいただければ、今回のリニューアルの中でできるかどうか、調整というか、協議させていただきたいと思います。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝）

平口委員。

○（平口朋彦君）

もし、大幅リニューアルというと、別料金になるので、やりたいアイデアがあったら、今のうちに言えよということですよ、今のお話は。

そういうことなのかなと今、理解したんですけど、そうですか。

○情報交流係長（大石晶秀君）

意見があれば、いただければと思います。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝）

よろしいですかね。

それでは、こちらのほう、ホームページに関しては、これで終わりたいと思います。

情報交流課の皆さん、どうもありがとうございました。

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

今、ホームページのことにに関して説明を受けていたかと思います。皆さんのほうからも、多くのご意見を言っていただいで、事務局向けのものもあったものですから、私ども、受けとめておるんですけども、リニューアルに関しましては、正直、私のほうも、まだリニューアル後のホームページ、市議会のホームページがどうなるのかというのを見ておりません。

今、初めて、この9ページで、何となくは、ページのイメージということで、市議会のあらましというページの例が出て、初めて見たんですけども、トップページがどうだとか、トップページに飛ぶまでのボタンがどうなっているだとか、もっと言うと、牧之原市のホームページ自体がどうなるのかというのも見えておりません。

今後、恐らく事務局のほうにも、こういったふうになりますけどというお話があるかと思うので、そのときに、皆さんがおっしゃるとおり、確かにボタン形式にして、そのボタンの項目一つとっても、わかりにくい項目立てをしておると、市民の皆さんがどのボタンを押していいかというのわからなくなってしまうので、そういったところも、事務局のほうで、もう一回精査をいたしまして、わかりやすいホームページにしていきたいというふうに思っておりますので、もし、きょうの段階で、もうちょっとこうしてもらいたいとか、こうならないかというような要望等があれば、事務局のほうに言っていただければ、そこは、確実に情報交流のほうに伝えて、契約の範囲内というふうになってしまうかもしれませんが、できるか、できないかということでお返事は、いただきたいというふうに思っておりますので、よろしくお願ひしたいというふうに思います。

この市議会のあらまし、これ、ちょっと例もあれだったかなと思うんですけど、市議会のあらましのこういう文が長いとか、あと写真とかの封入につきましても、全てそれぞれのページの編集というのは、各担当が行うものですから、今後、事務局が行っていきますので、よりよいページといいますか、ホームページになるように、もう一回、改良を重ねていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

以上です。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝）

ありがとうございます。

平口委員。

○（平口朋彦君）

一つ提案なんですけど、委員長、今、事務局のほうにという話をしたんですけど、事は、かなり大きな話のような気がしてきました。例えば、ボタンにするといっても、そのボタンを8個にする。その8個は、どういうボタンにするのか。会議録、今思うに、過去の会議録検索システム、では新着情報、どのボタンが必要なのか。固定の情報は、固定の情報でまとめるんだったら、組織、その他という情報のボタンも必要だし、これ、広報特別委員会、また別日を設けて、このホームページの、せめてトップページのデザインだけでも、ここで練り上げる日を別日で立ち上げて、真剣に2時間、3時間、協議をしたほうがいいんじゃないかなと私は思うんですよ。

この流れの中でやって、アイデアがあったらくださいと言ったら、結局みんな違うものができて、事務局もまとまらないと思うし、むしろ、広報特別委員会が、新たに課せられた大きな使命の一つだと思うので、役割の一つだと思うので、ぜひ別日で設定して、トップページデザイン、市議会ホームページの全体の構成、こういうものがないですという希望だけでも、つくりたいなと思います。提案します。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝）

皆さん、今、平口委員からそのような意見が出ましたけれども、異議はありませんか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議会広報特別委員長（濱崎一輝）

なければ、別日でまた設けてということですが、この後、ちょっと時間の関係もありま
すけれども、ちょっとお昼をまたいでという形で引き続きやりますけど、その中でやるか、別日
でやるかという形になるかと思えますけれども、いかがでしょうか。

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

別日でやっていただけるのはいいと思います。ですので、もし、別日にやるのであれば、例え
ば、今、考えているトップページのデザインが、例えば、どうなっているとか、そういった資料
も当然必要になってくるかと思えます。

先ほど、説明の中で、ちょっと検討中だよというようなお話もありましたので、もし別日でや
るのであれば、情報交流課のほうに資料というのを要求しまして、ある程度資料がそろった中で、
委員の皆さんに見てもらって、練っていただくということになると思えますので、少し時間はい
ただくようになるかと思えます。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝）

その場合はあれですかね、1月の中旬でしたっか、ホームページができ上がるのはということ
だったので、多分時間も限られていると思うので、やるんだったら、年内にやらなければと思
うんですけども。

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

もし、本日の委員会の中で、別日で設けるといふふうに決定するのであれば、この後、すぐ情
報交流課のほうにはお話をいたしまして、そういった広報の委員会で少し協議をすることになり
ましたのでということで、資料等をもらうように、すぐ対応をしたいと思えます。

別日の、特定の日、何日までにとかいうのまでは、少しちょっときょうの段階では、この場で
は、少しお返事をするのが難しいですので、現段階では、別日で設けるかということだけ、ご協
議いただければというふうに思えます。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝）

わかりました。

それでは、その別日は、今、決定できないということですよね。別日を決定してしまうとまずいよね。その資料ができ上がっていない状態で集まってもしょうがない。

○事務局書記（北原大輔君）

別日の、何日に開催というのまでは、ちょっと今のこの場ではわからないので、そういう要望があるよということであれば、情報交流課に伝えて、なるべく早く、では何日までにできるかどうかを確認いたしまして、また、それを委員長に報告をして、では12月の何日に開きますという招集通知を後ほど、委員の皆さんには、送るような手続になるかと思います。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝）

わかりました。では、そのように、後日、連絡という形になりますけれども、対応のほうをまた、よろしくをお願いします。

では、皆さん、もうお昼も過ぎちゃっていますけれども、一旦、お昼休憩をして、残りの部分をやりたいと思いますけれども、どうでしょうかね。今から1時間後ということ。

では、1時20分くらいからということで、再開したいと思いますけど、よろしいですか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議会広報特別委員長（濱崎一輝）

よろしいですか。では、そんな形で1時10分からという形をお願いします。お疲れさまです。

〔午後 0時20分 休憩〕

〔午後 1時10分 再開〕

○議会広報特別委員長（濱崎一輝）

それでは、時間が少し早いですけど、皆さん、お集まりのようなので、始めたいと思います。

2 事件 （2） 牧之原市議会だより「かけはし」の作成方針について

○議会広報特別委員長（濱崎一輝）

それでは、先ほどの続きということで、二つ目の議会だより「かけはし」の作成方針について、話し合いをしたいと思います。

こちらのほう、事務局の北原さんのほうから説明をお願いします。

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

それでは、かけはしの作成方針についてということで、今回、体制が変わりまして、初めての広報委員会ということで、少し出せていただきました、ペーパーの2枚目をごらんください。議会だより作成方針と書かれている資料になります。

こちらの作成方針につきましては、前回の広報委員会の中で視察に行った中で、こういった体制が変わる中においても統一したものをつくっていくために、作成方針をつくったほうがよいのではないかというようなお話があった中で、つくったものでございます。

少し、私のほうで抽出して読んでいきますので、ご確認ください。

まず、1の議会だよりの基本方針といたしましては、牧之原市議会を知ってもらうため、中学生にもわかる議会だよりのこととございます。根本的なスタンスといたしまして、議会だよりを読んで、全てをわかっていただくというよりは、まずは議会だよりを手に取ってもらって、少しでも知ってもらおうと。それで、もし、それ以上知りたい方につきましては、ホームページとか、会議録等に飛んでいただくというような、要は、入り口というか、知ってもらう入り口みたいなことで、議会だよりを、まずつくっていきこうというような方針になっております。

次の各ページにおける作成基準とございます。まず、表紙につきましては、近年、市内の小学校のほうに、表紙写真を依頼しております。この後、話にも出ますけれども、57号につきましては、今度、地頭方小学校。58号が牧之原小学校。59号が川崎小学校ということで、川崎小学校で全て市内の小学校を終えたということになります。

こちらにつきましては、一括で2年ほど前に、市内の校長会のほうで、全校長先生のほうに依頼しておりますので、59号までは、申しわけないですけど、確定ということをお願いをしたいと思っております。それ以降の表紙の写真については、また、そのときにご協議いただければというふうに思っております。

定例会報告につきましては、書いてあるとおりになんですけれども、以前は、委員会の中で出た質疑及び本会議に出ていた質疑ということで、分けて掲載をしておったんですけども、前回から、市民からすれば、委員会の中の質疑にとっても、本会議の質疑にとっても、同じということで、議案ごとの掲載というふうになっております。

また、一通り質疑・答弁を記載した後に、議案の一覧及び各議員の賛否の一覧ということを掲載しております。

続きまして、一般質問とございます。一般質問につきましては、基本的には2件までということで、3件目以降は、件名のみで記載をお願いしているところであります。必ず1ページに1枚以上は、写真またはイラストを入れていただくということとございます。

すみません、ここに書き漏らしたんですけども、前号から大きな見出しを、問いのみという言い方がいいかわからないんですけども、以前は、問と答というふうに書いておったんですけども、前回の視察を踏まえて、まず見出しでひきつけようということで、見出しには、キーワードとなるような言葉を載せた問いのみを掲載するというようなことで変更がされております。

そのほかの記事につきましては、原則としては、広報特別委員会で作成をしております。今回につきましては、両常任委員長のお二方につきましても、広報委員のほうになっていただいておりますので、委員長に確認をとるという作業につきましては、委員会の中でできるかなと思っておりますので、ここににつきましては、簡素化されるかと思っておりますけれども、基本的に委員会につきましては、その所属の委員さんが原稿を執筆するというようなふうになっております。

ごめんなさい、ここに全てのページにわたることなんですけど、現状、4段組で掲載しておりますので、そちらも前回から変わった点とございます。

裏面をお開きください。原稿作成における注意点ということで、基本的には、全て常体、である調ですね。常体で記載をしております。ただし、審議以外の部分につきましては、敬体、ですます調で記載をしているということでございます。

二つ目のぼつが一番難しいといいますが、中学生でもわかる言葉を意識して、行政用語や専門用語などは使わないというふうになっておって、やむを得ず使う場合には、注釈をつけて用語解説を掲載するというようになっております。

また、難解と判断した用語につきましては、委員会の中で編集をするというようになっているんですけども、現実問題といたしまして、やっぱりなかなか全ての言葉を行政用語、専門用語を除くというのは、正直難しいかと思っております。

できる限りの範囲で、なるべく基準は、中学生というところで持ってもらって、原稿等を作成、編集をしていただければというふうに思います。

次は、各原稿依頼をした際の文字数等になります。四角の中で囲ってあるところが、その部分になりますけれども、総括的質疑につきましては150字。通告質疑は100字。一般質問は800字。討論は150字ということで、それぞれ、前回から決まっております。こちらの文字数等についても、変更するような必要があるかどうかというのを、少し委員の皆さんで協議していただければというふうに思っています。

今回の11月定例会の中での原稿というのも、次回の一般質問のときに、各議員さんに依頼いたしますので、本日、決めていただいた内容、文字数等で依頼をかけますので、本日中に少し協議をお願いしたいというふうに思います。

4番の表記の統一につきましては、各用語、各単語、そちらを統一していこうというようなことで記載をさせていただいております。こちらのほうは、また、それぞれ読んでいただければというふうに思っておりますけれども、編集の際に、また、皆さん読んでいただく中で、気づいた点等があれば、言っていただければというふうに思っております。

事務局からは、以上です。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝）

ご説明ありがとうございます。

今の説明で不明な点など、質問があれば、いかがでしょうか。

藤野委員。

○（藤野守君）

一般質問の1枚以上の写真、または、イラスト。これ、2枚のときもあるんですけども、2枚のとき、両方イラストのときもあったんですよ。1枚は、少なくとも写真のほうがいいと思って、また、その辺をお願いしたいと、私は思うんですけども。1枚は写真、最低。2枚写真もいいと思うんですよ。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝）

ほかはいいですか。

平口委員。

○（平口朋彦君）

今の藤野委員のおっしゃるとおりだと思います。写真のほうが、やっぱり。イラストって意外と異物感がないんですよね。もうなじんでしまうので。

なので、写真のほうが異物感があって、興味をひいてもらえるので、1枚しか掲載しない場合だったら、写真と限定したほうがいいのかなどは、思いました。

あと、もう一点、その他記事について、ごめんなさい、今までの前期の「かけはし」を見させてもらって、本当にいい議会だよりになっているなって、本当に毎回、毎回思ってた見させていたでいていました。すごい工夫もあって、よかったなと思っています。

その中で、その他の記事、原則として議会広報特別委員会が作成することとするので、委員長に確認をとってから確認すると。今までは、ごめんなさい、前回の2年は、委員長に作成依頼をした記事がないということなんですか。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝）

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

委員長に作成依頼をした記事ということについてなんですけれども、その基準につきましては、要は、委員会としての考えとか、そういったものを書く場合においては、委員長に依頼をしておりました。

具体的な例をとりますと、視察の報告とか、そういった記事に関しましては、やはり委員長が考えるものと、各委員さんで考えるものというのは違ってきますので、委員長としてのお考え、もしくは、議会運営委員会も含めて、そういったものが含まれる場合には、委員長に依頼をしておりました。

以上です。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝）

平口委員。

○（平口朋彦君）

市民会議等で、では、委員長の署名記事じゃなかったら、全部議会広報で書いていたということですか。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝）

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

市民会議につきましても、すみません、今、具体的な例から外したんですけれども、その市民会議につきましても、委員長のほうに依頼をしておりました。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝）

ほか、ありますか。よろしいですか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議会広報特別委員長（濱崎一輝）

そうしたら、先ほどのイラストの件ですけれども、私は、よくイラストを使うんですけど、写真が載せられないとか、載せるものがない場合というのも出てくるんですけどね。あとは、その写真に関して、著作権云々というのが出てくるものですから、結構他市町のやつとかを引っ張ってくるとかというのは、ちょっと難しいのかなというのもあったりするので、なかなかそれが、特に、ほかのホームページ、リンクなんて見えても、写真とかイラストが勝手に流用されて問題になっているというケースが結構出てきていて、それが問題になっているケースもあるものですからね。

なかなかそれが、確実に撮れる写真ばかりでもないと思うものですから、一応原則はそんな形で、イラストと写真という形でいいと思うんですけども、今言った、例外的に写真が載せるものがない、載せられない場合もあるので、そこは、例外的に置いておいたほうがいいのかと思います。

そういう形でお願いしたいと思います。

ほか、なければ、（２）はこれでよろしいですかね、大丈夫ですかね。

2 事件 （３） 牧之原市議会だより「かけはし」第57号について

○議会広報特別委員長（濱崎一輝）

それでは、次、（３）ですね。議会だより「かけはし」の編集スケジュールについて、話し合いをしてきたと思いますので、事務局のほうからお願いします。

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

続きますので、資料の3枚目をごらんください。議会だより第57号の発行スケジュールでございます。わかっている方はいらっしゃるかと思うんですけど、一つの号を発行するまでに全5回の委員会を開催しております。

今回、本日につきましては、12月6日ということで、すみません、12月5日に本会議の通告室になっていきますけど、12月6日が第1回目ということで、開いております。

各委員の原稿依頼、先ほど、お話しさせてもらいましたけれども、各委員の原稿依頼につきましては、一般質問の初日に原稿依頼をかけまして、第2回の開催が、本会議の最終日でございます。

その後に、今回につきましては、年末年始が重なるということで、本年中に、全ての原稿の提出期限を定めさせていただきました。今回、12月27日が仕事納めの日ということで、12月27日を提出期限になっております。

裏面に行ってくださいまして、1月9日、木曜日、総務建設委員会協議会が開催される日ですけれども、その日の午後に第3回目を予定しております。そこから、業者のほうに依頼をかけま

して、1月20日の月曜日の9時に第4回、1月29日の水曜日の9時に第5回ということで予定をしております。

最後、2月5日に正副委員長の確認をしていただきまして、今回は2月14日が発行日ということをお願いをしたいというふうに思います。

以上です。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝）

今のスケジュールですけれども、見ていただいて、これ、ちょっと何とかありませんかという方がいれば、一応お聞きしますが、どうでしょうか。大丈夫ですかね。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議会広報特別委員長（濱崎一輝）

よろしいですか。

では、このスケジュールで行きたいと思います。

それでは、今度は、ページ割についてということで、引き続き、事務局のほうから説明をお願いします。

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

では、続きまして、ページ割についてということで、横印刷の比較表をごらんください。

今回、表紙は、地頭方小学校のほうに依頼をかける予定です。今回、議会の体制が変わったということで、2ページ目、3ページ目で新たな議会の体制をお知らせしようかと案で考えております。こちらは、当然、正副議長、委員長挨拶ということで、こちらにつきましては、ご本人、議長なら議長、副委員長なら副委員長に原稿依頼をしようかというふうに考えております。

4ページ目からが、11月定例会の報告になります。4ページにわたって書きまして、8ページ目に補正予算連合審査会、9ページ目に議案の一覧、10ページ目からは、一般質問ということで、今回、7ページ、7人分をとっております。

17ページ目にリニアの意見書、18ページ目に委員会の所管事務調査テーマ決定ということで、18ページ目につきましては、恐らく、11月定例会の会議中の中で、両常任委員会での所管事務調査が決まるということが考えられましたので、そちらのテーマをお知らせする予定でございます。

19ページ目もまだ未定で、余白にしてあります。

裏表紙につきましても、編集後記は、また委員長から始まってきますけれども、その他の記事につきましては、未定です。

あくまで、これは事務局の案ということですので、もし、その他で載せるようなこと等あれば、言っていただきたいのが一つと、11月定例会の報告につきましても、付託議案審査の中でどの程度質疑が出るんだとか、今後、討論が出てくるかとか、そういったことによってもかなり左右されてくる内容でありますので、現時点での案ということで、最終案につきましては、また、次回の第2回の委員会の中で、そのところには、全て固まっているかと思っておりますので、出したいかと

いうふうに考えています。

以上です。

○議会広報特別委員長（瀨崎一輝）

ありがとうございます。

大枠は、今のような流れでページ割されると思うんですけども、今、このところで19ページがあいていますが、ここに何を入れたらいいかというところなんですけれども、これまであいているページに関しましては、議会のほうから提案された状況というんですかね、今どうなっているかという案件に関しての状況だとか、例えば、議会の仕組みだったりとかというのが入れられたんですけども、今回、ちょうど北原さんのほうで、議会の仕組みのやつをホームページのほうでつくり直してくれてあるので、それなんかを載せてもいいのかなと、私、個人的には思うんですけども、ほかに皆さん、意見があれば、言っていただければと思いますけども。

平口委員。

○（平口朋彦君）

今、シリーズ特集ものはもうない。一部事務組合紹介は、全部終わったんだっけ。

○議会広報特別委員長（瀨崎一輝）

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

一部事務組合の特集は、全て終わりました。前体制でのシリーズものと言え、先ほど、委員長がおっしゃったように、提言のまず成果ですね。そちらをシリーズとして載せております。

それと、市議会の仕組みですね。そちらも、あいたページがあれば載せてきたというような状況になっています。

○議会広報特別委員長（瀨崎一輝）

平口委員。

○（平口朋彦君）

もちろん、定例会が始まって、まだ間もないもので、これからのボリュームにもよるんですけど、補正予算連合審査も、この4ページぶち抜きで持っている11月定例会報告も、ボリュームがそんなにないような気もしないでもないですよ。きょうの通告質疑自体も、もう、1件に対して、要は、12議案中1件に対して。ほかにも、人事案件だったり、道路ですよ。字の話だったりするので、そんなに出不来ような気がするんですよ、正直。推測で話をしちゃうとあれなんですけど。

そう思うと、ここでぶち抜きで4ページとってあっても、4ページ埋まらない可能性もすごくあるような気がするんですよ。19ページを合わせると、2ページ分くらいの何かアイデアを持っておかないとやばいかなと思うんですけど。

○議会広報特別委員長（瀨崎一輝）

議会からの提言は、結構まだ残っているよね。残っていない。

前だとあれですよ。広報、あるいは、文教と総務とバランスよくやっていたので、そういうことであれば、2ページとかも行けないことはないと思うんですけどね。

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

今、平口委員もおっしゃられたように、現段階では、どうしても推測としかお話しできないのが現状です。正直、補正予算連合審査もどのくらい質疑が出るかと、1ページ使う必要があるのか、もしかしたら、これが2ページになるのかとか、そういったことも推測の段階ということになりますので、現段階では、この程度で考えておいていただいて、第2回目のときには、全て出そろっているという中において、あいたページがどのくらいあって、そこには、どうしていくかということを決めていただければいいかと思っておりますので、きょうの段階では、現段階で今、1ページぐらいは、余裕があるということで、皆さんの中で、ちょっと次回までに、どういったことがあるかというのも少し。

私のほうも、少しもう一回、見直してみたりもしますけれども、検討していただいて、第2回のときに、最終決定ということをしていただければいいかなというふうに思います。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝）

平口委員。

○（平口朋彦君）

久しぶりなので忘れたんですけど、20の上は24だよ。20の下は幾つだっけ。もちろん、1枚だけ差すということはできるんですけど、それって、すごく高かったような気がする。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝）

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

16ページです。ただ、基本的に、今は全て20ページでお願いしてあります。16なら、もし、16でもできなくはないんですけど、原則、ここもう2年間ぐらいは、ずっと20ページでいっております。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝）

藤野委員。

○（藤野 守君）

ページの右、左の問題はあるかもしれないんですけどね、補正予算、これは台風の関係の、なかなか大きい予算が入ってくるんですけど、場合によっては、1ページに収まらないということも考えられ、これも推測ですけど。もしかしたら、2ページぐらい必要だということもあるかもしれないんですけど、一応それ、頭に入れておいたほうがいいかなというふうに思います。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝）

確かに、特集的にというのもいいかと思えます。

とりあえず、今のところは、スペースがあるのでということで、皆さん、また案をちょっと考

えていただいて、次回には決定しなきゃいけないので、ちょっと頭の片隅に置いておいていただければと思います。

3 その他

○議会広報特別委員長（濱崎一輝）

その他、何かありますか。いいですか。

では、事務局。

○事務局書記（北原大輔君）

ちょっと確認なんですけど、先ほどのホームページのお話で、再度、その議会のトップのことで協議をするということで、よろしいですか。確認です。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝）

はい。

○事務局書記（北原大輔君）

わかりました。

また、では、日程等、案ができましたら、委員長を通じて委員の皆さんには、お知らせすることになりますので、お願いします。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝）

その他、なければ、これで終わりたいと思います。よろしいですかね。

それでは、これで広報特別委員会の第1回目の委員会を終わります。どうもお疲れさまでした。

[午後 1時40分 閉会]